

令和3年漁期のズワイガニの水揚げ状況

資料提供	
令和4年4月4日	
担当課(担当者)	漁業調整課(松田、野々村)
電話	0857-26-7303

1 概況

- (1) 今漁期(R3.11.6~R4.3.20)は、沖合底びき網漁船23隻が操業し、漁期中の延べ入港隻数は698隻(前年比93%)だった。
- (2) 今漁期のズワイガニ漁は、水揚量が567トン(前年比78%)で、TAC消化率は66.7%(前漁期77.1%)となった。水揚金額は3,277百万円(前年比103%)で、過去最高額だった昨年を上回った。また、単価も5,775円/kg(前年比133%)と過去最高を記録した。
- (3) 「松葉がに」は、水揚量が240トン(前年比66%)で、水揚金額は過去最高額の2,022百万円(前年比111%)だった。また、単価も過去最高の8,418円/kg(前年比167%)と過去最高を記録した。
- (4) 「親がに」の水揚量は292トン(前年比90%)で、水揚金額は1,195百万円(前年比94%)となった。単価は4,090円/kg(前年比105%)だった。
- (5) 「若松葉がに」の水揚量は35トン(前年比83%)で、水揚金額は59百万円(前年比76%)、単価は1,703円/kg(前年比92%)だった。

2 集計結果(11月6日から3月20日までの累計)

漁協	漁船 隻数	延入港 隻数	松葉がに			親がに			若松葉がに			合計			
			数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)	数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)	数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)	数量 (kg)	金額 (千円)	単価 (円/kg)	
田後漁協	6	160	77,659	594,831	7,659	80,924	309,271	3,822	8,816	13,595	1,542	167,399	917,697	5,482	
鳥取県漁協	網代港支所	10	366	63,367	634,669	10,016	133,396	587,364	4,403	14,437	24,290	1,682	211,200	1,246,323	5,901
	賀露支所	4	92	37,928	343,024	9,044	29,024	108,511	3,739	7,802	15,263	1,956	74,753	466,798	6,245
	境港支所	3	80	61,260	449,505	7,338	48,888	190,039	3,887	3,873	6,330	1,634	114,021	645,874	5,665
合計	23	698	240,214	2,022,029	8,418	292,232	1,195,185	4,090	34,927	59,477	1,703	567,373	3,276,692	5,775	
前年同期	24	753	362,842	1,824,534	5,028	325,925	1,272,320	3,904	42,051	78,117	1,858	730,818	3,174,971	4,344	
対前年増減	△1	△55	△122,628	197,496	3,389	△33,693	△77,135	186	△7,124	△18,640	△155	△163,446	101,721	1,431	
前年比(%)	96	93	66	111	167	90	94	105	83	76	92	78	103	133	

(表中の数字は小数点以下四捨五入しています)

3 「特選とっとり松葉がに五輝星」について 【 】内は前漁期

- (1) 水揚げ枚数215枚【103枚】、水揚げ金額8,603千円【4,691千円】、平均単価40,016円/枚【45,541円/枚】、値幅14,000~900,000円【10,000~500,000円】
- (2) 水揚げ枚数は過去最高だった。多かった理由は、漁獲対象(五輝星サイズ※)に約10年前の発生の良かった年の群が当たっていると考えられる。
※五輝星(甲幅13.5cm以上)のサイズに成長するのに約10年を要する。

4 まとめ

- (1) 漁獲量は昨年の8割以下と減少した、この原因としては資源状況の悪化や漁船数の減少などが影響していると思われる。
- (2) 水揚げ金額は昨年に引き続き30億円を超え過去最高となった。主な原因としては漁獲量の多い11、12月は新型コロナウイルスの拡大が抑えられていたことにより需要が大きかったこと、国内産のズワイガニの代替品となる外国産輸入冷凍ガニが高かったことなどが考えられる。